

福岡市基本構想・基本計画の施策体系一覧表

基本構想	基本計画	
	分野別目標	施策(50 施策)
都市像1 『自律した市民が 支え合い心豊かに 生きる都市』	目標1:一人ひとりが心豊かに暮らし、元気に輝いている ○ユニバーサルデザインの理念によるまちづくりが進み、誰もが思いやりを持ち、すべての人にやさしいまちになっています。一人ひとりが互いに人権を尊重し、 <u>国籍や年齢、性の違い、障がいの有無などに関わらず、共に参画し、多様性を認め合いそれぞれの舞台でいきいきと輝いています。</u> ○多くの市民が、 <u>元気に歳を重ねながら知識や経験を生かし、社会の担い手、支え手として意欲的に社会参加し、活躍しています。</u> ○多くの市民が心豊かに文化芸術を楽しんでおり、また、生涯にわたりスポーツやレクリエーションに親しむなど、充実した生活を送っています。 ○支援を必要とする人々が適切な福祉サービスを受け、誰もが安心して快適に、笑顔で暮らしています。 ○多様な保育サービスが充実したゆとりある子育て環境の中、安心して子どもを生み、育てています。 ○子どもたちが、自ら学ぶ意欲と志を持ち、将来に夢や希望、目標を抱きながら、いろいろな世代の人とのふれあいや、さまざまな経験、学習を通じ、心豊かにたくましく成長しています。	1. ユニバーサルデザインの理念によるまちづくり 2. すべての人の人権が尊重されるまちづくりと男女共同参画の推進 3. 一人ひとりが健康で、生涯元気に活躍できる社会づくり 4. <u>心豊かで楽しい文化芸術の振興</u> 5. <u>スポーツ・レクリエーションの振興</u> 6. <u>すべての人が安心して暮らせる福祉の充実</u> 7. <u>安心して子どもを生み育てられる環境づくり</u> 8. <u>自ら考え、学び、行動する子ども・若者の育成</u>
	目標2:さまざまな支え合いとつながりができている ○市民が身近な地域の課題やまちづくりに関心を持ち、主体的に考え、地域コミュニティが活発に活動しています。 ○ <u>公民館などが地域コミュニティの拠点として活用され、多く市民が集い、さまざまな活動を行っています。</u> ○地域で人と人とのつながりが生まれ、 <u>さまざまな人々が、共に支え合いながら元気に安心して暮らしています。</u> ○地域コミュニティ、NPO、ボランティア、企業、行政などさまざまな主体が、個人や地域、社会の課題を、それぞれが知恵やノウハウなどを持ち寄って共働りし、解決するとともに、それぞれの長所や資源を生かした相乗効果が生まれています。	1. 支え合いの基盤となる地域コミュニティの活性化 2. <u>公民館などを活用した活動の場づくり</u> 3. 支え合いや助け合いによる地域福祉の推進 4. NPO、ボランティア活動の活性化 5. <u>ソーシャルビジネスなど多様な手法やつながりによる社会課題解決の推進</u>
	目標3:安全・安心で良好な生活環境が確保されている ○災害に強い都市基盤が整備され、消防・救急医療体制が充実しています。また、地域において自主防災組織を中心として共助の仕組みが作られ、災害への即応体制が強化されています。 ○地域の自主的な防犯活動が盛んに行われ、安全で安心して暮らせるまちに誰もが誇りをもっています。 ○水・交通・住環境などの都市基盤整備は、環境負荷の小ささ、災害への強さ、ユニバーサルデザインなどを踏まえて進められています。 ○安全・安心な暮らしのために必要な情報発信や啓発により、市民の認識が高まり、多くの市民がモラルやマナーを大切にしています。子どもたちは社会のルールを守る事の大切さを学び、思いやりの心や規範意識が育まれています。また、良好な生活衛生や豊かな消費生活が実現しています。	1. 災害に強いまちづくり 2. 安全で快適な生活基盤の整備 3. <u>良質な住宅・住環境の形成</u> 4. <u>ルールが守られ、人に優しい安全なまちづくり</u> 5. <u>犯罪のない安全で住みよいまちづくり</u> 6. <u>安全で良質な水の安定供給</u> 7. <u>日常生活の安全・安心の確保</u>
都市像2 『自然と共生する 持続可能で生活の 質の高い都市』	目標4:人と地球にやさしい、持続可能な都市が構築されている ○再生可能エネルギーの導入や省エネルギーの推進、公共交通機関の利用促進などにより、「創エネ・省エネ・蓄エネ」型のまちづくりが進むとともに、ごみの排出抑制やリサイクルなどが進んだ循環型社会になっています。 ○生物多様性がもたらす恵みの持続可能な利用とその保全が行われるとともに、水と緑豊かな都市環境が形成されています。 ○魅力ある都心や質が高く快適に暮らせる住環境と自然が近接し、 <u>美しい街並みや地域の特性に応じた魅力ある景観が形成されています。また、交通ネットワークが充実しており、コンパクトに暮らせる低炭素型のまちづくりが進んでいます。</u> ○都市の既存ストックが上手に長く活用され、魅力的な都市環境が形成されています。	1. 自律分散型エネルギー社会の構築 2. 公共交通を主軸とした総合交通体系の構築 3. 循環型社会システムの構築 4. 生物多様性の保全とみどりの創出 5. まちと自然が調和した福岡型のコンパクトな都市づくり 6. <u>地域や場所のマネジメントによる都市の価値の向上</u>
都市像3 『海に育まれた 歴史と文化の 魅力が人をひき つける都市』	目標5:磨かれた魅力に、さまざまな人がひきつけられている ○海をはじめとする自然、歴史、文化、食、スポーツ、商業施設などの多彩な資源が磨きあげられ、回遊性の高さやおもてなし等の観光のしやすさなどにより、世界中から人々が集まっています。 ○都心に近い大濠公園、舞鶴公園一帯が、市民の憩いの場としての機能と歴史、文化、観光の発信拠点としての機能を兼ね備えており、都市の顔として、その魅力の向上に重要な役割を果たしています。 ○MICEの拠点都市や国際スポーツ大会の開催都市として国際的に認知されています。 ○福岡都市圏や九州各都市と連携した戦略的なプロモーションにより、九州全体の集客力が高まっています。	1. <u>観光資源となる魅力の再発見と磨き上げ</u> 2. <u>緑と歴史・文化の賑わい拠点づくり</u> 3. <u>情報アクセスや回遊性など、来街者にやさしいおもてなし環境づくり</u> 4. <u>交流がビジネスを生むMICE拠点の形成</u> 5. <u>国際スポーツ大会の誘致やプロスポーツの振興</u> 6. <u>戦略的なプロモーションの推進</u>
	目標6:経済活動が活発でたくさんの雇用が生まれている ○福岡都市圏の大学や企業、行政が協力・連携し、 <u>IT、健康、医療、福祉産業など、成長分野の企業活動が活発であるとともに、多くの国内外企業の立地が進み、働く場が充実しています。</u> ○新分野への進出や販路拡大などにより、地場中小企業の競争力が高まっています。 ○新たな担い手づくりや新鮮な農水産物の地産地消、特産品開発が進み、農林水産業を含むさまざまな産業で付加価値が向上し、九州が一体的に発展しています。 ○福岡都市圏全体の経済が活性化しており、成長分野の企業のみならず、中小企業においても多くの雇用の場が創出され、若者、女性、高齢者、障がい者がいきいきと働いています。	1. 産学官連携による、知識創造型産業の振興 2. 成長分野の企業や本社機能の立地の促進 3. 地域経済を支える中小企業等の競争力強化 4. 農林水産業とその関連ビジネスの振興 5. 就労支援の充実
都市像4 『活力と存在感に 満ちたアジアの 拠点都市』	目標7:創造的活動が活発で、多様な人材が新しい価値を生み出している ○起業など新たな挑戦をしようとする創造的で先鋭的な人材や企業が世界中から福岡に集まっており、 <u>新たな価値を生み出しています。</u> ○創造性あふれる感性や技術、才能を持った人材や企業が集積する中で、起業家や新進芸術家、クリエイターなどの先鋭的で創造的な人材や企業が活躍し、新しい価値を生み出しています。ゲーム、映画、音楽等のコンテンツやファッション、デザインなどのクリエイティブ産業が集積しており、都市の成長の原動力となっています。 ○ <u>文化芸術活動を行う人が多く集まり、福岡を拠点として活躍しています。</u> ○都心を中心とした創造的な空間に人材が集積し、活発に交流しており、福岡を拠点に活躍する女性、 <u>若者</u> 、学生、留学生が数多く生まれ、チャレンジする人材が活躍しやすいまちになっています。	1. 新たな価値を生むスタートアップシティづくり 2. <u>文化芸術活動など創造的活動の振興</u> 3. 個人の才能が成長を生む創造産業の振興 4. 多様な人が集まり交流する創造的な場所づくり 5. <u>女性や若者、留学生など多様な人材の活躍の場づくり</u>
	目標8:国際競争力を有し、アジアのモデル都市となっている ○豊かな自然に囲まれ、高度な都市機能が充実し、博多港や福岡空港、交通体系の整備が進んだ福岡都市圏で交流が盛んに行われ、学術や文化、経済など、あらゆる活動が活性化しています。 ○海外経験等を持つ日本人や留学生、外国人が、福岡市を舞台にさまざまな分野で活躍しています。 ○地場企業が、活力あるアジアに積極的に展開し、国際競争力が強化されているとともに、地域の経済を活性化しています。 ○アジアの中の成熟都市として蓄積した知識や経験を生かし、アジア地域が抱える社会課題の解決や生活環境の向上に寄与しています。 ○制度、習慣、言語などを超え、互いに国境を接する福岡市と釜山広域市とが日常生活圏を超えて一つの経済圏を形成しています。	1. 都市の活力を牽引する都心部の機能強化 2. 活力創造拠点づくり 3. 国際的なビジネス交流の促進 4. 成長を牽引する物流・人流のゲートウェイづくり 5. <u>グローバル人材の育成と活躍の場づくり</u> 6. <u>アジアの諸都市への国際貢献の推進</u> 7. <u>釜山広域市との超広域経済圏の形成</u> 8. <u>アジアをはじめ世界の人にも暮らしやすいまちづくり</u>